

CD-S3000

CD プレーヤー



ヤマハ AV 製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- 本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前に取扱説明書と「安全上のご注意」、保証書をよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要に応じてご利用ください。
- 保証書は、「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

取扱説明書

保証書別添付

生命を吹き込む

弾き手の心を映し出すピアノは高度な技術力と人の芸術的感性が美しく調和して生まれます。

ピアノに楽器としての命を吹き込む最終工程が「整音」と呼ばれる作業です。

熟練した技術者が一音一音に全神経を集中し、弦を打つハンマーの硬さや弾力を微妙に調整することで 88 の鍵盤すべての音色と響きを完璧な状態に揃えていく、息の詰まるような時間。研ぎ澄まされた人間の感性が音を決めています。それはオーディオ機器でも何ら変わりません。試聴を重ね、あらゆる構成要素を入念に検討し、設計者が描く理想の音へ一歩、また一歩と近づいていくのです。

125 年以上、音と歩んできたヤマハの伝統が、すべてのヤマハオーディオ機器に息づいています。



オーディオの歩み

1920-
1960s

1922 年：高級手巻蓄音機を世に出す
1955 年以来、数々のハイファイ機器
(レコードプレーヤー、チューナー、
プリメインアンプ、コントロールアンプ、
パワーアンプやスピーカー) を発売

NS-20 モニタースピーカー



NS-20



CA-1000

1970s

CA-1000 プリメインアンプ

A クラス動作プリメインアンプのスタンダード

NS-690 ナチュラルサウンドスピーカー

NS-1000M モニタースピーカー

ハイファイファンに現在でも愛される伝説の
スピーカー



NS-690



NS-1000M

B-1 パワーアンプ

全段に縦型 FET を採用した革新的なパワーアンプ

C-2 コントロールアンプ

ミラノ国際音楽ハイファイショーで最高賞を受賞



B-1



C-2

NS-10M スタジオモニタースピーカー

世界で最も普及したスタジオモニター

A-1 プリメインアンプ

PX-1 レコードプレーヤー

ヤマハ初のリニアトラッキング式
レコードプレーヤー



PX-1



NS-10M

1980s

B-6 パワーアンプ

X 電源、X アンプ搭載のピラミッド型パワーアンプ

GT-2000/L レコードプレーヤー

GT 思想を具現化した超精密重量級プレーヤー

CD-1 初の CD プレーヤー発売
(1983 年)

B-2x パワーアンプ

**MX-10000 パワーアンプ、
CX-10000 コントロールアンプ**

セパレート機器の能力の定義を変えたアンプ
100 周年記念モデル

AX-2000 プリメインアンプ

128dB の高 S/N 比、デジタル
ダイレクト機能搭載



B-6



GT-2000



AX-2000



GT-CD1

1990s

GT-CD1 CD プレーヤー

一体型セパレート構造を持つ
トップエントリー式プレーヤー

**MX-1 パワーアンプ、
CX-1 コントロールアンプ**



A-S2000

2000s

**Soavo-1、Soavo-2 ナチュラルサウンド
スピーカーシステム**

**A-S2000 プリメインアンプ、
CD-S2000 スーパーオーディオ
CD プレーヤー**



Soavo-1



CD-S2000

2010s

NP-S2000 ネットワークプレーヤー



NP-S2000

CD-S3000

- ◆ DAC を起点としたフルバランス伝送による高品質再生
- ◆ デジタル／アナログ完全分離型のツイン電源トランス
- ◆ 新開発の高剛性ローダーと高精度 CD ドライブ
- ◆ 左右独立の電源回路とツイン DAC 構成により Lch/Rch が完全独立したシンメトリカルバランス回路
- ◆ ピュアダイレクトモード搭載
- ◆ 高品位なスーパーオーディオ CD 再生
- ◆ 振動を排除する新開発のスパイク内蔵重量型脚部
- ◆ USB DAC 192 kHz/24bit、DSD 再生

■ 付属品

同梱されている付属品をご確認ください。

- 電源コード
- リモコン
- 単4乾電池（2本）
- ステレオピンケーブル（動作確認用）
- 安全上のご注意（別冊）

もくじ

各部の名称と機能	6
接続	18
パソコンに保存された音楽の再生	22
仕様	26
再生できるディスク／フォーマット	27
故障かな？と思ったら	29

■ 本書の記載について

- 「ご注意」は操作、設定を行う際に留意すべき事項、※ は知っておくと便利な補足情報を記載しています。
- 写真はイメージです。実際とは異なります。
- 本機をご使用になる前に、別冊の安全上のご注意を必ずお読みください。

CD-S3000

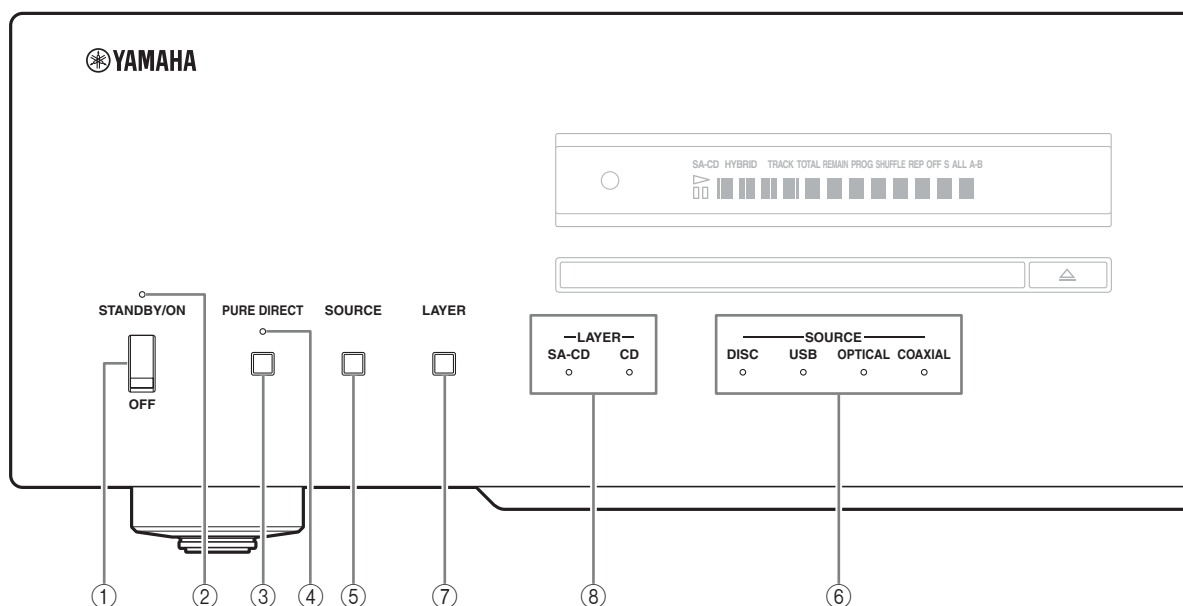
各部の名称と機能

この章では、フロントパネル、リアパネル、リモコンの各部の名称および機能について説明しています。



各部の名称と機能

■ フロントパネル (6 ～ 9 ページ)



- ① **スタンバイ オン オフ (電源) スイッチ**
本機の電源の ON (オン) /OFF (オフ) を切り替えます。

STANDBY/ON (上側) :

リモコンの CD キーで STANDBY と ON を切り替えます。

OFF (下側) :

電源を OFF にします。

ご注意

- ・本機の電源を ON にしてから音声再生されるまでに数秒かかります。
- ・音声信号が認識できないまま、操作されない状態が 30 分間続いた場合、本機は自動的に STANDBY 状態になります (15 ページ参照)。
- ・STANDBY 状態で電源プラグをコンセントから抜き、再度差し直すと電源が ON になります (20 ページ参照)。長期間本機を使用しない場合は、電源スイッチを OFF にしてください。

- ② **スタンバイ オン (電源) インジケーター**

点灯 :

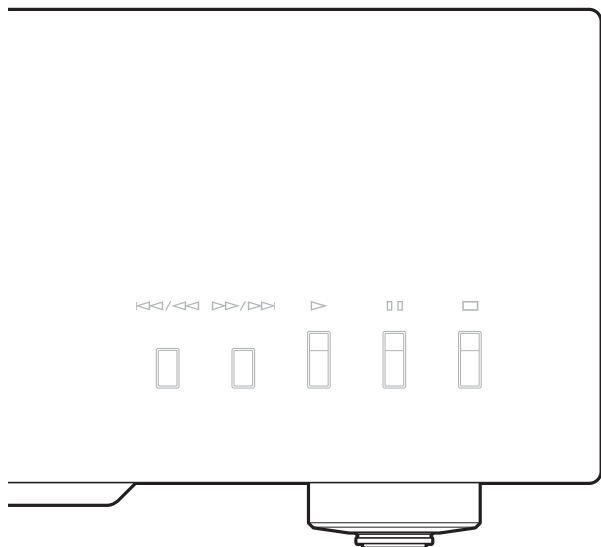
本機の電源が ON の状態を示します。リモコンの CD キーで本機を STANDBY 状態に切り替えることができます。

暗い点灯 :

本機が STANDBY の状態を示します。この点灯のとき、リモコンの CD キーを押すと本機が ON になります。

消灯 :

電源が OFF の状態を示します。
本体フロントパネルの STANDBY/ON/OFF (電源) スイッチのみ電源を ON にできます。



③ ビュア ダイレクト PURE DIRECT キー

PURE DIRECT をオンにすると、高音質な再生が楽しめます。

PURE DIRECT をオンにすると：

- リアパネルの DIGITAL OUT (OPTICAL および COAXIAL) 端子 (10 ページ参照) から信号が出力されなくなります。
- フロントパネルのディスプレイには最小限のインジケータやメッセージのみが表示されます。



- 再度押すと PURE DIRECT がオフになります。
- この設定は本機の電源を OFF にした後も保持されます。

④ ビュア ダイレクト PURE DIRECT インジケータ

PURE DIRECT をオンにすると点灯します。

⑤ ソース SOURCE キー

再生したい音声ソースを選択します。キーを押すたびに音声ソースが切り替わります。



選択した音声ソースの設定は、電源を OFF した後も保持されます。

⑥ ソース SOURCE インジケータ

SOURCE キーで選択しているソースのインジケータが点灯します。

⑦ レイヤー LAYER キー

再生の停止中にハイブリッドスーパーオーディオ CD の再生レイヤーを、スーパーオーディオ CD (SA-CD) と CD 間で切り替えます (27 ページ参照)。



この設定は本機の電源を OFF にした後も保持されます。

ご注意

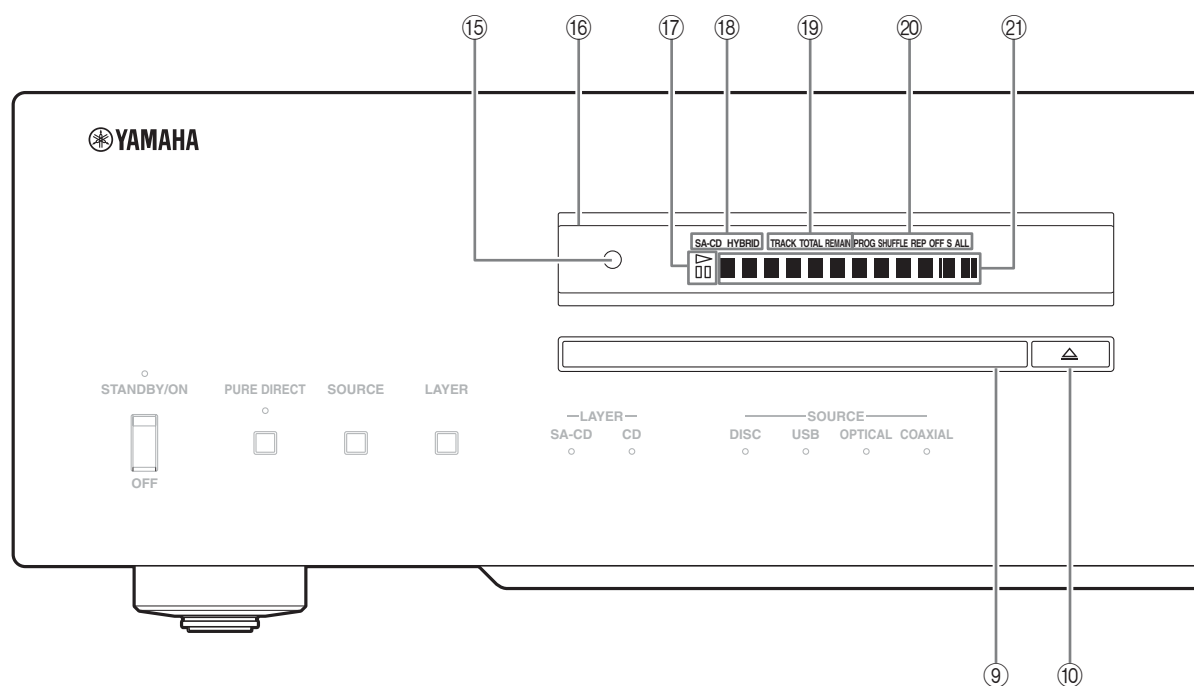
スーパーオーディオ CD レイヤーを選択している間は、オーディオ信号は BALANCED OUT (バランス出力) 端子と ANALOG OUT (アナログ出力) 端子からのみ出力されます。

⑧ レイヤー LAYER インジケータ

LAYER キーで選択されているレイヤーのインジケータが点灯します。

各部の名称と機能

■ フロントパネル (6 ~ 9 ページ)



⑨ ディスクトレイ

ディスクをセットします。

⑩ △ (開閉) キー

ディスクトレイを開閉します。



下記の操作をした場合も自動的にディスクトレイが閉まります。

- フロントパネルまたはリモコンの ▷ キーを押す。
- ディスクトレイの手前を軽く押す。
- リモコンの任意の数字キーを押す。

⑪ ◀◀/▶▶ (頭出し／早戻し) キー

1 回押す：現在再生中の曲の先頭に頭出しします。

2 回押す：前の曲に頭出しします。

押し続ける：早戻しをします。

▶▶/▶▶ (頭出し／早送り) キー

1 回押す：次の曲に頭出しします。

押し続ける：早送りをします。

⑫ ▷ (再生) キー

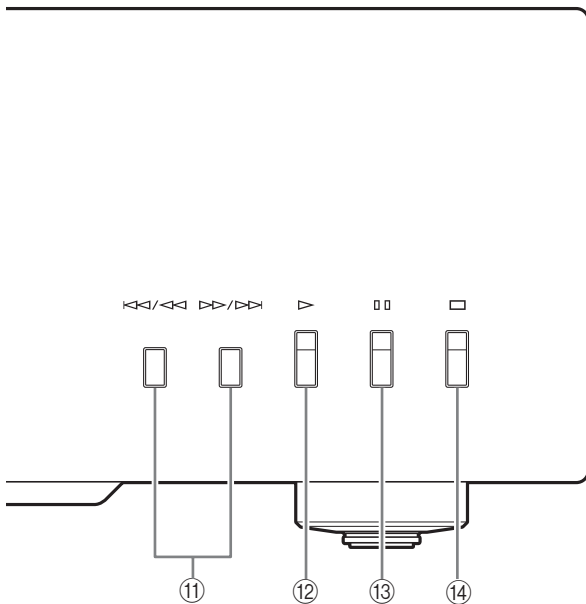
再生を開始します。

⑬ ◻◻ (ポーズ) キー

再生を一時停止します。▷ キーまたは ◻◻ キーを押すと再生が始まります。

⑭ ◻ (停止) キー

再生を停止します。

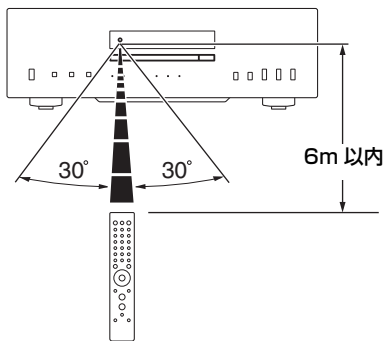


⑮ リモコン受光部

リモコンの信号を受信します。



リモコンは指向性のある赤外線を送信します。リモコンは必ず本体のフロントパネルのリモコン受光部に向けて操作してください。



⑯ ディスプレイ

リモコンの DIMMER キーで明るさを調整できます (12 ページ参照)。

⑰ ▷ (再生) / □□ (ポーズ) インジケーター

再生／一時停止時に点灯します。

⑱ ディスクインジケーター

ディスクトレイにセットされているディスクの種類 (SA-CD/CD/HYBRID) を示します。

⑲ 再生時間表示インジケーター

ディスプレイに表示される時間表示の状態を示します。時間表示はリモコンの DISPLAY キーで切り替えます (13 ページ参照)。



⑳ 再生モードインジケーター

現在の再生モードを示します。

PROG : プログラム再生 (14 ページ参照)

SHUFFLE : シャッフル再生 (13 ページ参照)

REP OFF : リピート再生オフ (12 ページ参照)

REP S : 一曲リピート再生 (12 ページ参照)

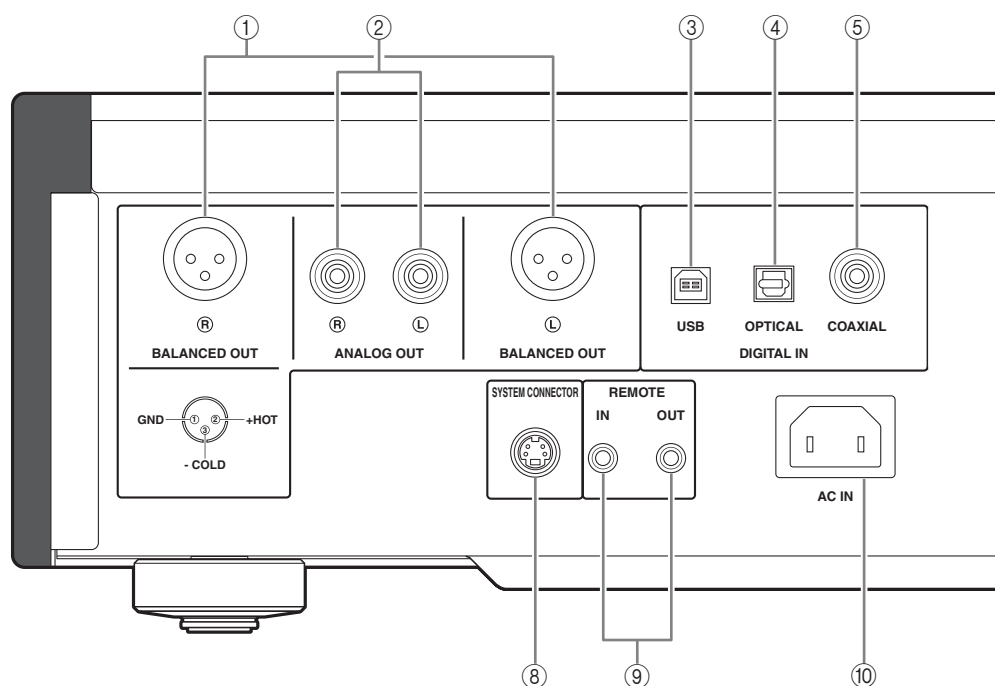
REP ALL : 全曲リピート再生 (12 ページ参照)

㉑ 情報ディスプレイ

MP3/WMA の再生について詳しくは、28 ページをご覧ください。

各部の名称と機能

■ リアパネル



接続に関しては 18 ページをご覧ください。

- ① バランスアウト (バランス出力) 端子 (オス)
- ② アナログアウト (アナログ出力) 端子
- ③ デジタル イン デジタル イン USB 端子 (Type B)
- ④ デジタル イン オプティカル デジタル イン OPTICAL (光デジタル入力) 端子
- ⑤ デジタル イン コアキシャル デジタル イン COAXIAL (同軸入力) 端子
- ⑥ デジタル アウト オプティカル デジタル アウト OPTICAL (光デジタル出力) 端子
- ⑦ デジタル アウト コアキシャル デジタル アウト COAXIAL (同軸出力) 端子

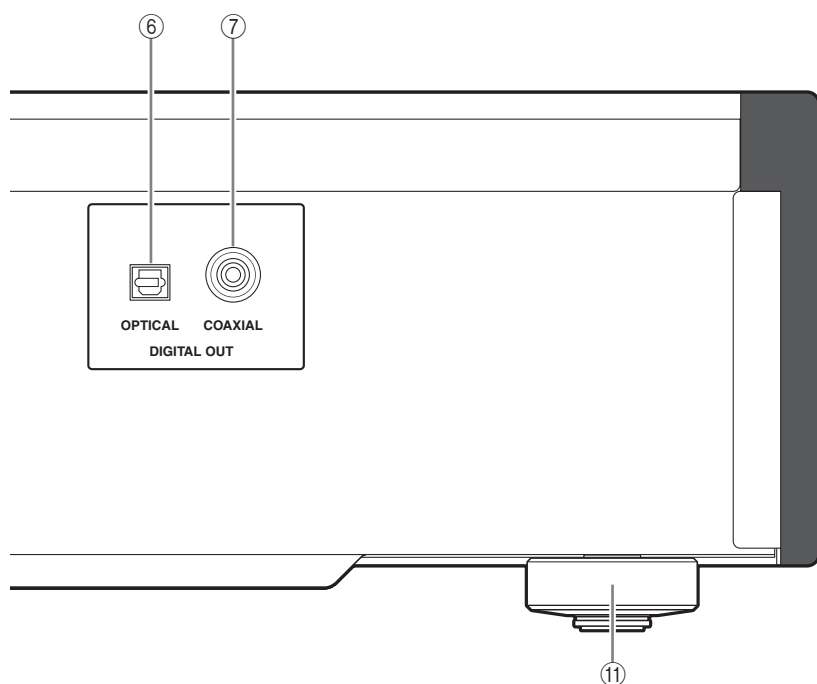
ご注意

スーパーオーディオ CD レイヤーを再生している間は、オーディオ信号は BALANCED OUT (バランス出力) 端子と ANALOG OUT (アナログ出力) 端子からのみ出力されます。

- ⑧ システムコネクター端子
製品検査用の端子です。

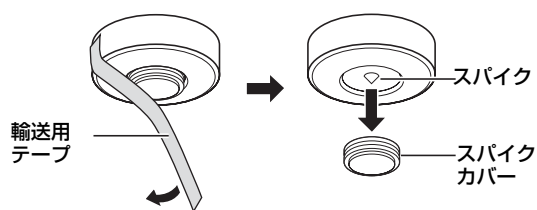
- ⑨ リモート イン/アウト 端子
リモート機能に対応する外部機器を接続することができます。
リモート機能対応機器との接続は、21 ページをご覧ください。

- ⑩ AC IN 端子
付属の電源コードを接続します。
電源コードの接続は、20 ページをご覧ください。



⑪ 脚

本機の脚にはスパイクが内蔵されています。スパイクを使用すると本機に対する振動の影響を減少できます。スパイクを利用するには、輸送用テープを取り外してから、磁石式のスパイクカバーを取り外してください。



重要

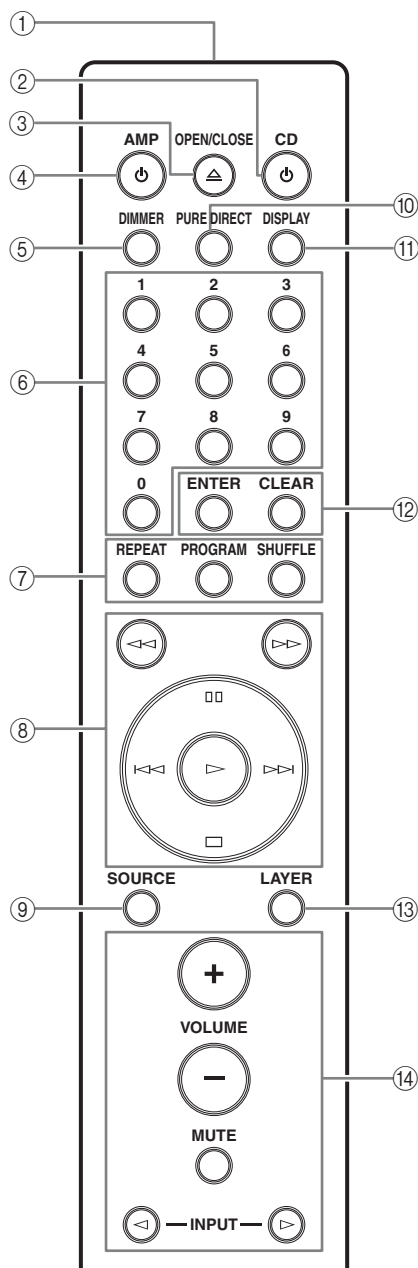
脚に内蔵されたスパイクを利用すると、本機を設置した棚または床が傷つくことがあります。そのようなおそれがある場合は、スパイクカバーまたはお手持ちの保護材をご使用ください。



本機が不安定な場合には、脚を回して高さを調整できます。

各部の名称と機能

■ リモコン



① 赤外線信号送信部

本体に向けて赤外線信号を送出します。

② 電源 CD キー

本機の電源（オンとスタンバイ）を切り替えます。スタンバイについて詳しくは 6 ページの「フロントパネル」をご覧ください。

③ オープン / クローズ (開閉) キー

ディスクトレイを開閉します。

④ 電源 AMP キー

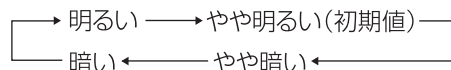
ヤマハ製アンプの電源（オンとスタンバイ）を切り替えます。

ご注意

ヤマハ製アンプであっても、一部対応していない機器があります。

⑤ ディマー DIMMER (調光) キー

フロントパネルのディスプレイの明るさを選択します。DIMMER キーを押すたびに明るさが下記の順番で変化します。



この設定は本機の電源を OFF にした後も保持されます。

⑥ 数字キー

トラック番号で曲を直接選択するときに使用します。

ご注意

この操作は MP3 ディスクと WMA ディスクでは無効になります。

⑦ リピート REPEAT キー

1 曲または全曲をリピート再生します。再生中に REPEAT キーを押すたびに、リピート再生は下記のように切り替わります。

REP OFF (リピート再生オフ): リピート再生を解除します。

REP S (一曲リピート再生): 再生中の曲を再生し終わると、その曲の先頭から再生を繰り返します。

REP ALL (全曲リピート再生): ディスクの最後の曲を再生し終わると、ディスクの最初の曲から再生を繰り返します。

ご注意

この操作は MP3 ディスクと WMA ディスクでは無効になります。

プログラム PROGRAM キー

プログラム再生モードをオン/オフします。詳しくは 14 ページの「プログラム再生する」をご覧ください。

シャッフル SHUFFLE キー

ディスク内の曲を順不同で再生します（シャッフル再生）。

ご注意

- この操作は MP3 ディスクと WMA ディスクでは無効になります。
- 再生を停止したりディスクを取り出すと、シャッフル再生は解除されます。

⑧ ◀◀（早戻し）キー、▶▶（早送り）キー

曲を早戻しまたは早送りします。

⏏（ポーズ）キー

再生を一時停止します。▶ キーまたは ⏏ キーを押すと再生が始まります。

▶（再生）キー

再生を開始します。

◀◀、▶▶（頭出し）キー

▶▶：次の曲に頭出しします。

◀◀：現在再生中の曲の先頭に頭出しします。2 回押すと、前の曲に頭出しします。

⏏（停止）キー

再生を停止します。

⑨ ソース SOURCE キー

再生したい音声ソースを選択します。キーを押すたびに音声ソースが切り替わります。



選択した音声ソースの設定は、電源を OFF した後も保持されます。

⑩ ビューダイレクト PURE DIRECT キー

PURE DIRECT をオンにすると、高音質な再生が楽しめます。

PURE DIRECT をオンにすると：

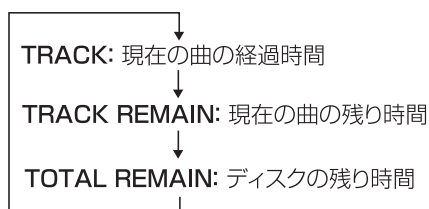
- PURE DIRECT インジケーターが点灯します。
- リアパネルの DIGITAL OUT（OPTICAL および COAXIAL）端子（10 ページ参照）から信号が出力されなくなります。
- フロントパネルのディスプレイには最小限のインジケーターやメッセージが表示されます。



- 再度押すと PURE DIRECT がオフになります。
- この設定は本機の電源を OFF にした後も保持されます。

⑪ ディスプレイ DISPLAY キー

時間表示を切り替えます。再生中に DISPLAY を押すたびに、時間表示は下記のように切り替わります。



⑫ エンター ENTER（入力）キー

プログラム編集モード時に、数字キーで選んだトラック番号を確定します。

クリア CLEAR キー

プログラム編集モード時に、最後にプログラムされているトラックを消去します。詳しくは 14 ページの「プログラム再生する」をご覧ください。



プログラム再生が停止しているときに押すと、プログラムされたトラックをすべて消去できます。

⑬ レイヤー LAYER キー

再生の停止中に、ハイブリッドスーパーオーディオ CD の再生レイヤーを、スーパーオーディオ CD（SA-CD）と CD 間で切り替えます（27 ページ参照）。



この設定は本機の電源を OFF にした後も保持されます。

ご注意

スーパーオーディオ CD レイヤーを選択している間は、オーディオ信号は BALANCED OUT（バランス出力）端子と ANALOG OUT（アナログ出力）端子からのみ出力されます。

⑭ ヤマハ製アンプ操作キー

ヤマハ製アンプを操作します。アンプの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

ヤマハ製アンプであっても、一部対応していない機器があります。

MP3/WMA 再生に関して詳しくは、28 ページをご覧ください。

各部の名称と機能

■ プログラム再生する

プログラム再生モードでは、トラックをプログラムした順番で再生できます。

で注意

- この操作は MP3 ディスクと WMA ディスクでは無効になります。
- 下記のときプログラムされたトラックはすべて消去されます。
 - ディスクを取り出したとき
 - 本機の電源を OFF あるいは STANDBY にしたとき
 - ディスク以外の音声ソースを選択したとき
 - ハイブリッドスーパーオーディオ CD の再生レイヤーを、スーパーオーディオ CD (SA-CD) と CD 間で切り替えたとき

1 再生を停止している間に PROGRAM キーを押す。
本機はプログラム編集モードにセットされます。

2 数字キーを使用してトラックを 1 つ選び、ENTER キーを押して確定する。

3 手順 2 を繰り返して次のトラックを入力する。
最大で 24 個のトラックまでプログラムできます。

4 ▷ (再生) キーを押す。
プログラムした順序で再生が始まります。

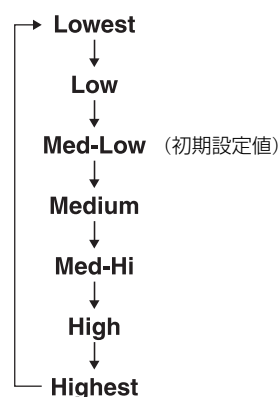
■ DPLL (Digital Phased Lock Loop) のバンド幅を設定する

本機のオーディオ DAC (ES9018) は、DPLL で入力デジタル音声信号のクロックに同期した正確なクロック信号を生成します。また、バンド幅を 7 段階で設定することができ、入力デジタル信号のクロック変動に対する耐性や DAC 内部の動作クロックの精度を調整することができます。

1 SOURCE キーを押し、再生したい音声ソースを選ぶ。
音声ソースごとに DPLL のバンド幅を設定できます。

2 音声ソースを選択後、5 秒以内に ENTER キーを押す。
設定モードに入り、現在選択されている DPLL バンド幅が情報ディスプレイに表示されます。

3 ◻◻(ポーズ) キーと◻(停止) キーで DPLL のバンド幅を切り替える。
◻◻(ポーズ) キーを押すたびに、次の順序でバンド幅が切り替わります。◻(停止) キーを押すと逆の順序で切り替わります。



4 ENTER キーを押す。

設定値が 3 秒間点滅し、通常モードに戻ります。
設定を途中でキャンセルするには、CLEAR キーを押してください。

ご注意

- Lowest に近づくほど、DAC 内部の動作クロックの精度が向上しますが、外部機器のクロックの変動の影響を受けやすくなります。接続する外部機器によっては音が途切れる場合があります。
- Highest に近づくほど、DAC 内部の動作クロックの精度が低下しますが、外部機器のクロックの変動の影響を受けにくくなり、音途切れが起こりにくくなります。

■ オート パワースタンバイ AUTO POWER STANDBY 機能を切り替える

AUTO POWER STANDBY 機能の設定を、オンまたはオフに切り替えることができます。オンに設定すると、音声信号が認識されないまま、操作されない状態が 30 分間続いた場合、本機は自動的に STANDBY 状態になります。オフに設定すると、自動的に STANDBY 状態になりません。

1 ディスクトレイを開け、ディスクを取り出す。

すでに情報ディスプレイに「NO DISC」と表示されている場合は、手順 1 ～ 3 を行う必要はありません。

2 ディスクトレイを閉める。

3 SOURCE キーを押し、DISC を選ぶ。

情報ディスプレイに「NO DISC」と表示されます。

4 本体の□(停止) キー、または▷(再生) キーを約 2 秒間押し続けて、設定を切り替える。

□(停止) キー：AUTO POWER STANDBY 機能がオンになり、情報ディスプレイに「AutoSTBY ON」と表示されます。

▷(再生) キー：AUTO POWER STANDBY 機能がオフになり、情報ディスプレイに「AutoSTBY OFF」と表示されます。

ご注意

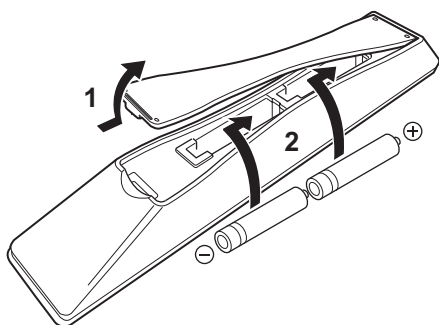
- 初期設定は、AUTO POWER STANDBY 機能がオンになっています。
- 本機の電源を OFF にしても、設定は保持されます。

各部の名称と機能

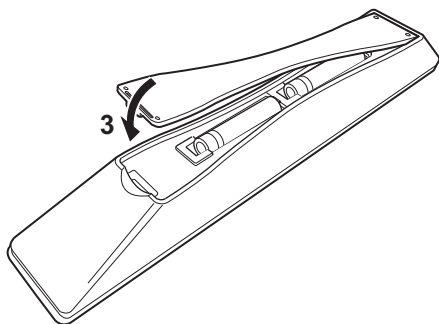
■ リモコンに電池を入れる

1 電池カバーを外す。

2 電池ケース内に記載されている極性（+／－）に従って、単 4 乾電池（2 本）を電池ケースに挿入する。



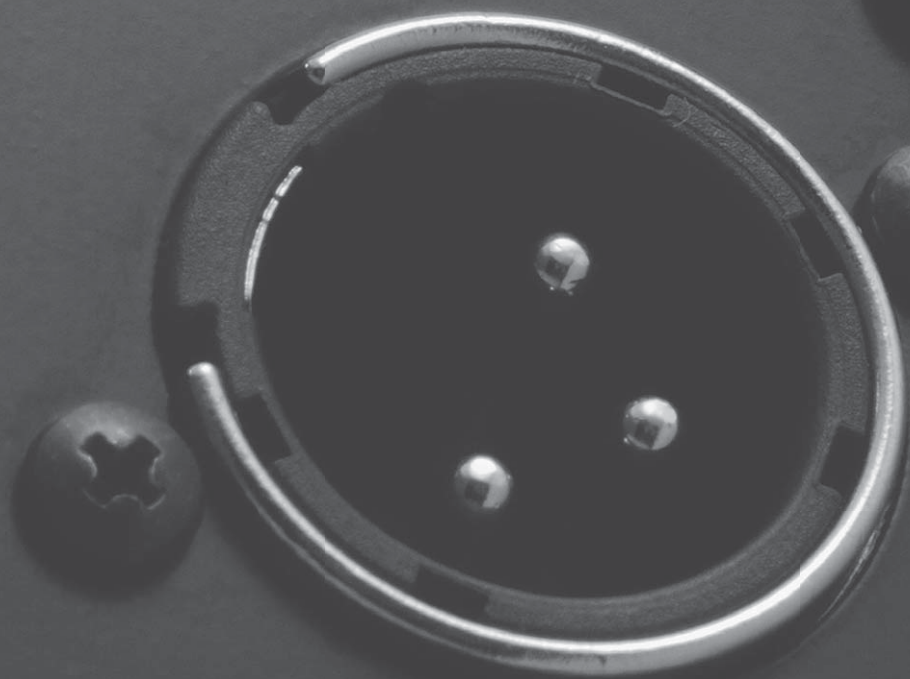
3 電池カバーを装着する。



CD-S3000

接続

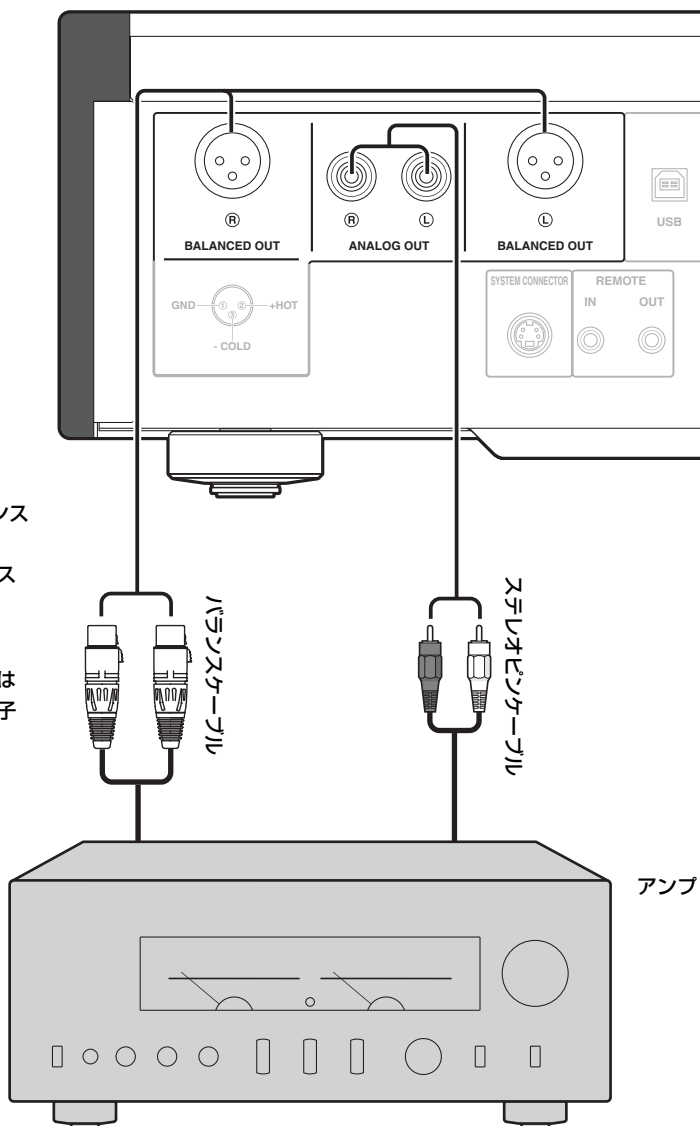
この章では、CD-S3000 と アンプの接続について説明します。

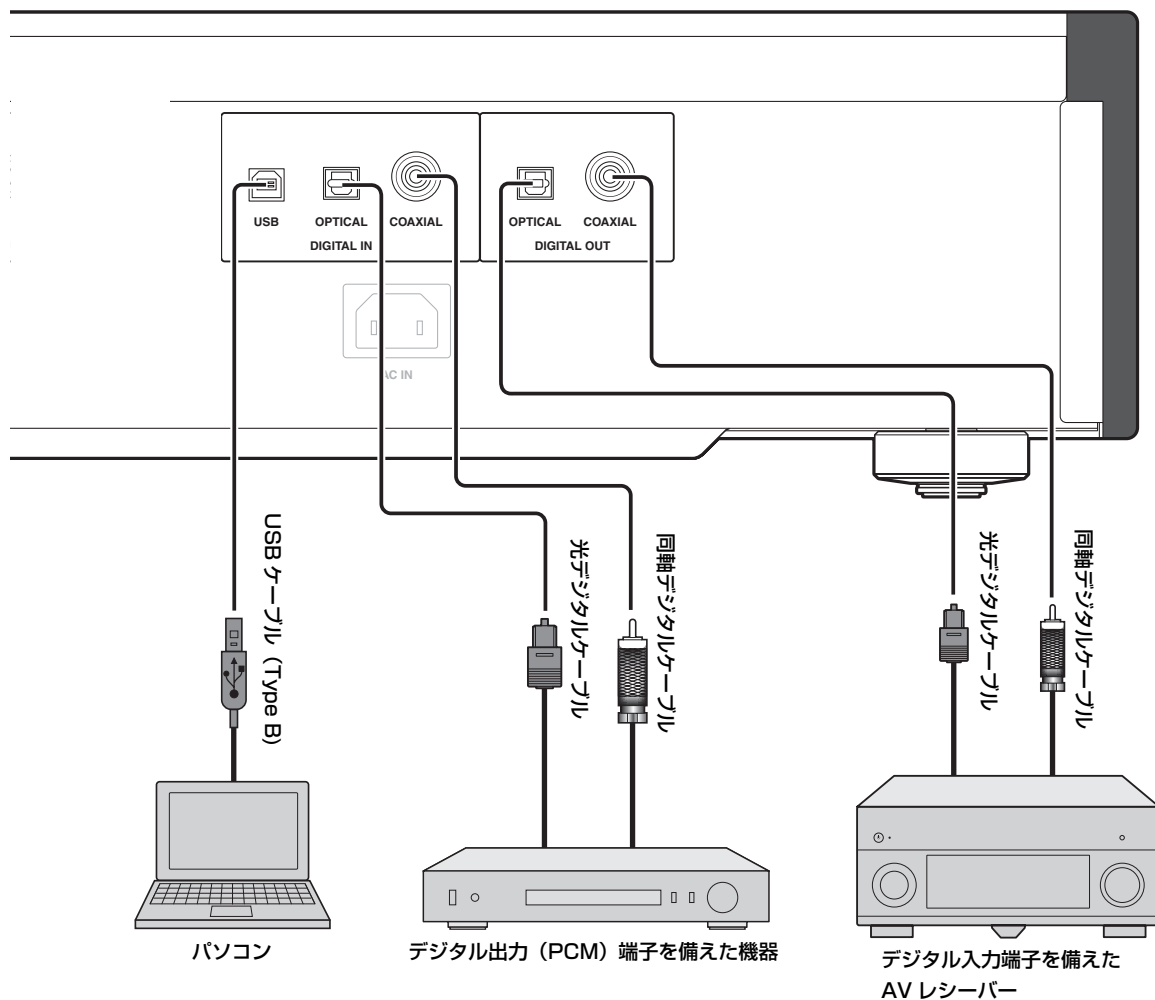


接続

アンプが XLR コネクター式のバランス端子を備えている場合は、最適なオーディオ性能を得るためにバランスケーブル接続を推奨します。

スーパーオーディオ CD レイヤーを再生している間は、オーディオ信号はバランス出力端子とアナログ出力端子からのみ出力されます。





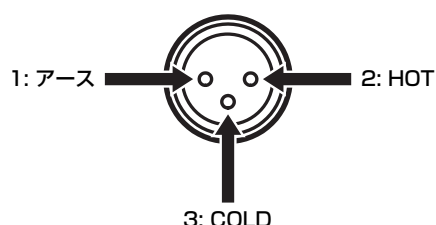
ご注意

本機の DIGITAL IN (OPTICAL/COAXIAL) 端子に入力できるデジタル信号は、PCM 信号のみです。
対応する PCM 信号の詳細は 26 ページをご覧ください。

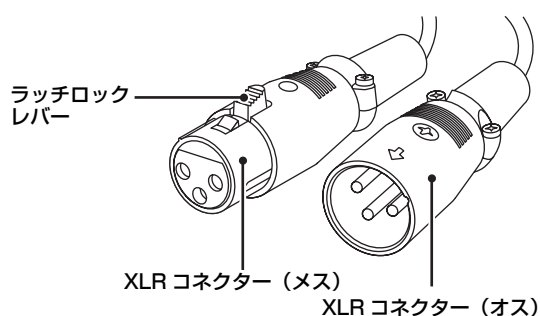
接続

■ バランス出力端子に接続する

XLR コネクター式のバランス入力端子を備えたアンプを接続します。端子のピン配置は下図に示すとおりです。アンプに付属の取扱説明書を参照し、アンプの XLR バランス入力端子が下のピン配置に対応しているかを確認してください。

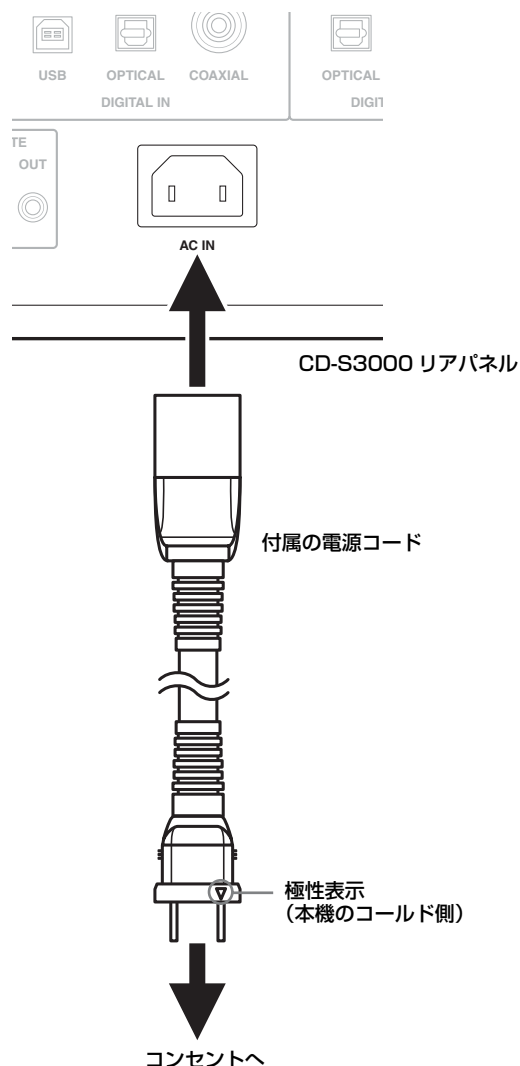


接続の際には必ずピンどうしを合わせ、XLR コネクター（メス）を差し込みます。接続を外すには、XLR コネクター（メス）のラッチロックレバーを押し下げながら引き抜きます。



■ 電源コードを接続する

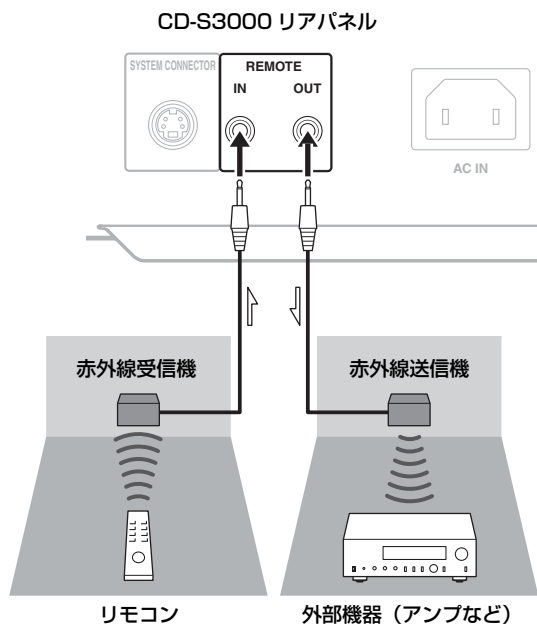
すべての接続が終了したら、電源コードを本機の AC IN 端子に差し込み、家庭用 AC100 V、50/60 Hz のコンセントに電源プラグを接続します。



- 付属の電源コードの▽マークは極性（本機のコールド側）を示しています。
- 接続するときの電源プラグの向き（極性）によって音質が変わることがあります。お好みの向きで接続してください。

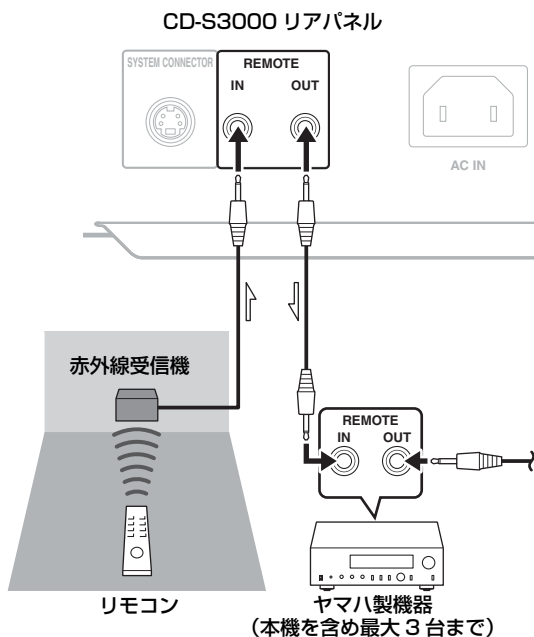
■ 別の部屋から本機を操作する

赤外線受信機／送信機を本機の REMOTE IN/OUT 端子に接続すれば、付属のリモコンで、別の部屋にある本機や外部機器を操作できます。



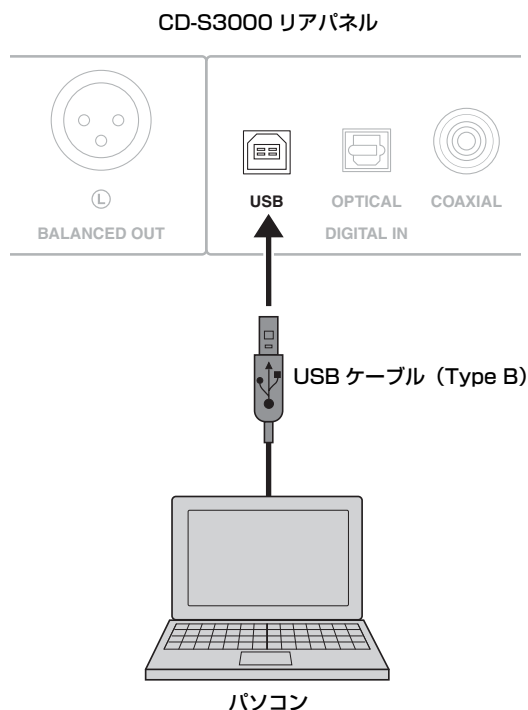
■ ヤマハ製機器間でリモート接続する

本機のようにリモート接続に対応している別のヤマハ製機器をお使いの場合は、赤外線送信機は不要です。赤外線受信機とモノラルミニプラグケーブルを使って、REMOTE IN/OUT 端子を接続するだけで、リモコン信号を転送できます。接続できるヤマハ製機器は、本機を含めて 3 台までです。



パソコンに保存された音楽の再生

本機の USB 端子にパソコンを接続すれば USB DAC として機能し、本機に接続したアンプを通してパソコンに保存された音楽を再生できます。



■ 対応している OS

本機と USB 接続できる パソコンの OS は次のとおりです。

Windows の場合 : Windows Vista (SP2, 32/64bit) / Windows 7 (32/64bit) / Windows 8 (32/64bit)

Mac の場合 : OS X 10.5.8/10.6.8/10.7.x/10.8.x

ご注意

- 上記以外の OS での動作は保証いたしません。
- パソコンの構成や環境によっては、上記の OS で使用しても動作しない場合があります。
- ドライバーをインストールする前に、パソコンに本機を接続すると、正しく動作しない場合があります。

■ 専用ドライバーをインストールする

本機とパソコンを接続する前に、専用のドライバーをパソコンにインストールしてください。

- 1 下記の URL にアクセスし、専用のドライバー「Yamaha Steinberg USB ドライバー」をダウンロードし、ファイルを解凍し、実行する。

専用ドライバーソフトダウンロードページ
URL : <http://download.yamaha.com/>

- 2 ダウンロードした「Yamaha Steinberg USB ドライバー」をパソコンにインストールする。
詳しくは、ダウンロードしたドライバーに添付されているインストールガイドをご覧ください。
- 3 インストールが終了したら、起動中のすべてのアプリケーションを終了する。
- 4 パソコンのオーディオ出力先を「Yamaha CD Player」に設定する。

Windows OS の場合 :

コントロールパネル→サウンド→【再生】タブ

Mac OS の場合 :

システム環境設定→サウンド→【出力】タブ

設定方法は OS により異なる場合があります。詳しくは、お使いのパソコンメーカーにお問い合わせください。



伝送可能なサンプリング周波数は次のとおりです。

44.1 kHz/48 kHz/88.2 kHz/96 kHz/176.4 kHz/192 kHz

ご注意

- ドライバーをインストールする前に本機にパソコンを接続すると、正しく動作しません。
- Windows XP のパソコンにインストールすると、パソコンの動作速度が遅くなります。その場合は、パソコンを再起動してください。
- 「Yamaha Steinberg USB ドライバー」は、改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。詳細および最新情報については、「専用ドライバーソフトダウンロードページ」でご確認ください。

■ パソコン内の音楽を再生する

- 1 USB ケーブルで本機とパソコンを接続する。
- 2 パソコンの電源を入れる。
- 3 本機の STANDBY/ON/OFF スイッチを押して電源を入れる。
- 4 本機の SOURCE キーで「USB」を選択する。
- 5 パソコンのオーディオ出力先を「Yamaha CD Player」に設定する。

Windows OS の場合：

コントロールパネル→サウンド→【再生】タブ

Mac OS の場合：

システム環境設定→サウンド→【出力】タブ

設定方法は OS により異なる場合があります。詳しくは、お使いのパソコンメーカーにお問い合わせください。

- 6 パソコンで音楽ファイルの再生を始める。
パソコンから本機に音楽信号が入力されると、本機のディスプレイに再生している曲のサンプリング周波数が表示されます。

■ 音量の調整のしかた

より良い音質を得るためには、パソコンの音量を最大に設定し、アンプの音量を最小から少しずつ大きくし、好みの音量に調整してください。

で注意

- パソコンを USB ケーブルで接続して音楽を再生しているときに、USB ケーブルを抜いたり、本機の電源を OFF にしたり、SOURCE キーで入力を切り替えたりしないでください。誤動作の原因になります。
- 音楽再生時のパソコンの操作音を消したい場合は、パソコンの設定を変更してください。
- 音楽ファイルを正しく再生できない場合は、パソコンを再起動し、前述の手順で操作し直してください。
- 本機または本機のリモコンから、パソコンに保存された音楽を操作することはできません。パソコンに保存された音楽の操作は、パソコン側で行ってください。

CD-S3000 仕様

この章では、CD-S3000 の技術仕様を掲載しています。



仕様

オーディオ部

- 周波数特性 (1 kHz, 0 dB)
 - SA-CD 2 Hz ~ 50 kHz (− 3 dB)
 - CD 2 Hz ~ 20 kHz
- 再生周波数範囲 2 Hz ~ 96 kHz
- 歪率 (1 kHz, 0 dB)
 - SA-CD 0.002% 以下
 - CD 0.002% 以下
- S/N 比 (IHF-A Network) (1 kHz, 0 dB)
 - SA-CD/CD 116 dB 以上
- ダイナミックレンジ (1 kHz, 0 dB)
 - SA-CD 110 dB 以上
 - CD 100 dB 以上
- 出力レベル (1 kHz, 0 dB)
 - SA-CD/CD 2.0 ± 0.3 V

レーザー部

- 波長
 - SA-CD 655 nm
 - CD 790 nm
- レーザー出力
 - SA-CD 最大 1.89 mW
 - CD 最大 1.36 mW

入力・出力部

- デジタル入力 (DIGITAL IN)
 - USB (Type B) × 1 USB 2.0 準拠
 - OPTICAL × 1
 - COAXIAL × 1
 - 対応サンプリング周波数 44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz
 - 対応ビット長 16 bit/24 bit
- デジタル出力 (DIGITAL OUT)
 - OPTICAL × 1
 - COAXIAL × 1
 - 対応サンプリング周波数 44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz
 - 対応ビット長 16 bit/24 bit
- オーディオ出力
 - ANALOG OUT Unbalanced × 2 ch (L/R)
 - BALANCED OUT Balanced × 2 ch (L/R)
- リモート入力
 - REMOTE IN
 - REMOTE OUT
- システムコネクター
 - SYSTEM CONNECTOR

総合

- 電源電圧 AC 100 V, 50/60 Hz
- 消費電力 30 W
- 待機電力 (参考値) 0.3 W
- 寸法 (幅×高さ×奥行き) 435 × 142 × 440 mm
- 質量 19.2 kg

* 仕様、および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

お手入れ (本体側面の鏡面部)

ヤマハユニコンクロス (別売) のご使用をおすすめします。汚れがひどいときはヤマハピアノユニコン (別売) をご使用ください。ヤマハユニコンクロスおよびヤマハピアノユニコンは、お近くのヤマハ特約店にてご購入いただけます。

お手入れ (鏡面部以外)

ベンジンやシンナーなどの化学薬品は使用しないでください。表面を傷めてしまうおそれがありますので、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、水で薄めた洗剤を布に含ませ、よくしぼって拭き取ってください。

再生できるディスク／フォーマット

■ 再生できるディスクの種類

本機は以下に示すマークがつけられたディスクを再生できます。それ以外のディスクは絶対に本機にセットしないでください。本機は 8 センチ CD も再生することができます。

スーパーオーディオ CD



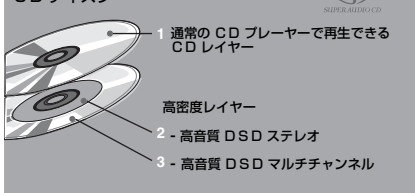
SUPER AUDIO CD

高音質な音楽情報が高密度に記録されたディスクです。スーパーオーディオ CD には、シングルレイヤー、デュアルレイヤー、ハイブリッドレイヤーの 3 種類のタイプがあります。ハイブリッドレイヤーのディスクには、1 層のレイヤーに 2 種類のデータが記録され、もう 1 層に従来の音楽 CD データが記録されているため、通常の CD プレーヤーでも再生できます。

スーパーオーディオ CD ディスクタイプ



ハイブリッドスーパーオーディオ CD ディスク



ご注意

- 本機ではディスクに含まれる文字情報は表示されません。
- 本機では DSD マルチチャンネルで記録された音声は再生されません。

コンパクトディスク（オーディオ CD）



市販の音楽 CD として最もポピュラーなディスクです。

CD-R、CD-RW ディスク



ご自分で書き込んだ CD-R や CD-RW を音楽 CD として再生できます。MP3 または WMA 形式のファイルも再生できます。

ご注意

- 信頼できるメーカーのディスクを必ずご使用ください。
- ディスクやケースに下記のいずれかの表示のあるディスクをご使用ください。
 - FOR CONSUMER
 - FOR CONSUMER USE
 - FOR MUSIC USE ONLY
- CD-R または CD-RW はファイナライズされたディスクのみ再生できます。

CD-TEXT ディスク



アルバム名、曲名、アーティスト名などの文字情報が記録されたディスクです。本機は CD-TEXT ディスクの音楽再生に対応しています。

ご注意

本機ではディスクに含まれる文字情報は表示されません。

ご注意：

一部の CD-RW ディスクや正しく録音されていないディスクは、本機では再生できない場合があります。

誤動作を防ぐために：

- ハート型のディスクなど標準的でない形のディスクは、本機の故障の原因となる恐れがあります。
- ディスクにテープや紙などを貼らないでください。詰まったり、本機の故障の原因となる恐れがあります。



再生できるディスク／フォーマット

■ MP3 および WMA ディスクについて

本機では CD-R や CD-RW に収録した MP3、WMA ファイルを音楽 CD と同様に再生することができます。

MP3

MPEG-1 Audio Layer-3 の略で、音声データを圧縮するフォーマットの一つです。音楽 CD と同じレベルの音質を維持してデータ容量を圧縮することができます。

ご注意

- 本機では、MP3 ファイルをトラック名のアルファベット順に再生します。
- フォルダーとトラックの数は合計で 648（うちフォルダー数は最大 299）まで認識、再生することができます。
- ライティングソフトなどライティングの条件によっては、アルファベット順に再生されないことがあります。
- 本機は 44.1kHz のサンプリング周波数に対応しています。
- 本機は 32、40、48、56、64、80、96、112、128、160、192、224、256、320 kbps のビットレートに対応しています。可変ビットレートには対応していません。
- 本機は ISO9660 フォーマットのディスクに対応しています。
- ファイルに含まれる文字情報は本機では表示されません。

WMA

Windows Media Audio の略で、MP3 と同様に音声データを圧縮するフォーマットの一つです。

MP3 よりも高い圧縮率で、データ容量を圧縮することができます。

ご注意

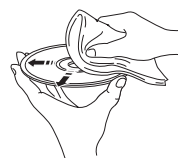
- 本機では、WMA ファイルをトラック名のアルファベット順に再生します。
- フォルダーとトラックの数は合計で 648（うちフォルダー数は最大 299）まで認識、再生することができます。
- ライティングソフトなどライティングの条件によっては、アルファベット順に再生されないことがあります。
- 本機は 44.1kHz のサンプリング周波数に対応しています。
- 本機は 48、64、80、96、128、160、192 kbps のビットレートに対応しています。可変ビットレートには対応していません。
- 本機は ISO9660 フォーマットのディスクに対応しています。
- 本機では、著作権保護された WMA ファイルは再生できません。
- ファイルに含まれるテキストデータは本機では表示されません。

■ ディスクの取り扱い

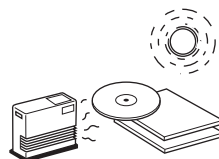
- できるだけディスクの縁を持つようにして、表面に触れないように扱ってください。



- ディスクは磨耗することはめったにありませんが、取り扱い中についた表面の傷によって、正常に再生できなくなることがあります。
- レーベル面に紙など（レーベル面用のシールも含みます。）を貼ったり、ボールペン等、先の固いもので文字を書いたりしないでください。
- 折り曲げたり、強い衝撃を与えたりしないよう注意して扱ってください。
- 演奏が終わったディスクは必ずケースに入れて保管してください。
- 信号記録面に傷をつけないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。
- 記録面に指紋やほこりがついたときは、柔らかな布などで軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。ほこりや汚れは柔らかい布で軽く拭き取ってください。



- レコードスプレー、帯電防止剤、またはその他の化学薬品などで絶対にディスクを拭かないでください。表面が侵されることがあります。
- 直射日光の当たる場所や、高温多湿な場所に長時間置くと、ディスクが変形したりして使用できなくなる原因となりますので、絶対に置かないでください。



- 8 センチ CD を再生するときは、ディスクトレイの内側の溝に置いてください。また、8 センチ CD の上に 12 センチ CD を重ねて置かないでください。

故障かな？と思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。その上で正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められた場合は、本機の電源を OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターまで、お問い合わせください。

症状	原因	対策	参照ページ
電源スイッチを操作しても電源が入らない	電源プラグが正しく接続されていない。	電源プラグをコンセントに差し込み直してください。	20
電源が自動的に STANDBY 状態になる	自動 STANDBY 機能が働いた。	音声信号が認識できないまま、操作されない状態が 30 分間続いた場合、本機は自動的に STANDBY 状態になります。	6
ディスクトレイが完全に閉まらない	ディスクトレイに異物が入っている。	ディスクトレイを確認し異物を取り除いてください。	—
ディスクを入れても演奏できない	ディスクに傷がある。	ディスクを交換してください。	—
	本機内部のレンズが結露している。	本機をオンにして 20 ～ 30 分待ってから再度ディスクを再生してください。	—
	ディスクが裏返しにセットされている。	ディスクのレーベル面を上にして入れてください。	—
	ディスクがひどく汚れている。	クリーニングしてください。	28
	本機が対応していないフォーマットの MP3 または WMA ファイルを再生しようとしている。	本機が対応しているフォーマットで記録されたディスクと交換してください。	28
	正しく録音されていない CD-RW ディスクを使用している。	正しく録音され、本機に対応したディスクを使用してください。	27
	本機が対応していない規格外のディスクを使用している。	正しく録音され、本機に対応したディスクを使用してください。	27
演奏が遅れて始まったり、正しくない位置から始まる	ディスクに汚れや傷がある。	ディスクをクリーニングするか、傷のないディスクに交換してください。	28
音が出ない	出力ケーブルの接続が正しく接続されていない。	出力ケーブルの接続を確認してください。症状が改善されない場合は、ケーブルに問題がないか確認してください。	18
	アンプの操作が間違っている。	アンプの入力を確認してください。	—
デジタル入力端子に接続した機器から音声再生されない	PURE DIRECT がオンになっている。	PURE DIRECT をオフにしてください。	7
	スーパーオーディオ CD レイヤーを再生している。	再生するレイヤーを切り替えてください。	7
音飛びをする	本機が振動や衝撃を受けている。	設置場所を変えてください。	—
	ディスクがひどく汚れている。	クリーニングしてください。	28
	再生オーディオ信号のクロックが変動している。	オーディオ DAC (ES9018) の DPLL バンド幅を変更してください。	14
プーンというハム音が入る	ステレオピンケーブルがしっかり接続されていない。	ステレオピンケーブルをしっかり差し込んでください。症状が改善されない場合は、ケーブルに問題がないか確認してください。	18
チューナーにノイズが入る	本機とチューナーの設置場所が近い。	チューナーから遠ざけるか、または本機の電源を切ってください。	—
ディスクトレイから雑音が出る	ディスクが変形している。	変形のないディスクに交換してください。	28

故障かな？と思ったら

症状	原因	対策	参照 ページ
DIGITAL IN (OPTICAL/COAXIAL) 端子に接続した機器の音が出ない	DIGITAL IN (OPTICAL/COAXIAL) 端子に接続した機器の出力音源設定が PCM に設定されていない。	本機は DIGITAL IN (OPTICAL/COAXIAL) 端子は PCM 音源しか再生できません。接続機器の出力音源を PCM に設定してください。	—
リモコンでは操作できない	乾電池が消耗している。	乾電池を交換してください。	16
	操作する位置が本体から遠すぎるか、または角度が正しくない。	リモコンは本体から 6m 以内で、また本体正面より左右それぞれ 30° 以内の角度で操作してください。	9
	受光部に強い日光や照明（インバーター蛍光灯など）が当たっている。	受光部に強い光が当たらないように本機の置き場所や方向、または照明の位置を変えてください。	9

■ USB 接続に関して

症状	原因	対策	参照 ページ
パソコンで本機が認識されない	動作保証していない OS を搭載したパソコンを接続した。	動作保証されている OS を搭載したパソコンを接続してください。	22
	USB ケーブルが正しく接続されていない。	USB ケーブルを正しく差し込み直してください。	19、22
	パソコンまたはアプリケーションの出力が、ミュートまたは消音に設定している。	パソコンまたはアプリケーションのミュートまたは消音設定を解除してください。	—
雑音がする	音楽ファイル再生中に、パソコンで他のアプリケーションを起動した。	音楽ファイル再生中に、パソコンで他のアプリケーションを起動すると、音が途切れたり、ノイズが発生する場合があります。音楽ファイル再生中は、他のアプリケーションを起動しないでください。	—
音楽ファイルが再生できない	音楽ソフトを起動した状態で本機とパソコンを接続したり、本機の入力を「USB」に切り替えたりしたため、音楽データが正しく再生できなかった。	本機とパソコンを接続し、本機の入力を「USB」に切り替えてから、パソコンの音楽ソフトを起動して音楽ファイルを再生してください。	22
	専用のドライバー「Yamaha Steinberg USB ドライバー」が正しくインストールされていない。	もう一度「Yamaha Steinberg USB ドライバー」を正しくインストールし直してください。	22

■ 情報ディスプレイの表示メッセージ

メッセージ	状態
NO DISC	CD がディスクトレイに入っていません。
Check Cable	専用のドライバー「Yamaha Steinberg USB ドライバー」が正しくインストールされていません。または、パソコンの音声出力が正しく「Yamaha CD Player」に設定されていません。
Check PC	パソコンの音声信号が正しく認識できません。
Fs: ---kHz	音声信号が認識できません。

お問い合わせ窓口

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■ヤマハお客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口



0570-011-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-3409

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

受付：月～金曜日 10:00～18:00 土曜日 10:00～17:00
(日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

■ホームシアター・オーディオサポートメニュー

お客様から寄せいただくよくあるお問い合わせをまとめました。
ぜひご覧ください。

<http://jp.yamaha.com/support/audio-visual/>

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ヤマハ修理ご相談センター



0570-012-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。
TEL (053) 460-4830

受付：月～金曜日 9:00～18:00 土曜日 9:00～17:00
(日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

FAXでのお問い合わせ

北海道、東北、関東、甲信越、東海地域にお住まいのお客様
(03) 5762-2125

九州、沖縄、中国、四国、近畿、北陸地域にお住まいのお客様
(06) 6465-0367

修理品お持ち込み窓口

受付：月～金曜日 9:00～17:45
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラクタターミナル内14号棟A-5F
FAX (03) 5762-2125

西日本サービスセンター

〒554-0024 大阪市此花区島屋6-2-82
ユニバーサル・シティ和幸ビル9F
FAX (06) 6465-0374

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

●保証期間

製品に添付されている保証書をご覧ください。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

●修理料金の仕組み

技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

●スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

●摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。

本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を！



こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズが変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感ずる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中区中沢町10-1

